

小學普通科第二讀本

平井正編  
本居豐穎閱

178  
2  
39

館藏書會育教  
二  
二  
二  
五  
六册 二號 二架 函

K110,8  
70

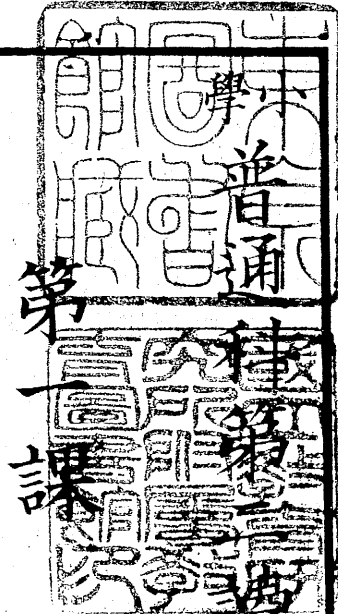
本居豊穎 撰  
平井 正 編

# 小普通科第二讀本

東京書肆 山中孝之助 藏板



明治十九年二月十八日 内務省贈付



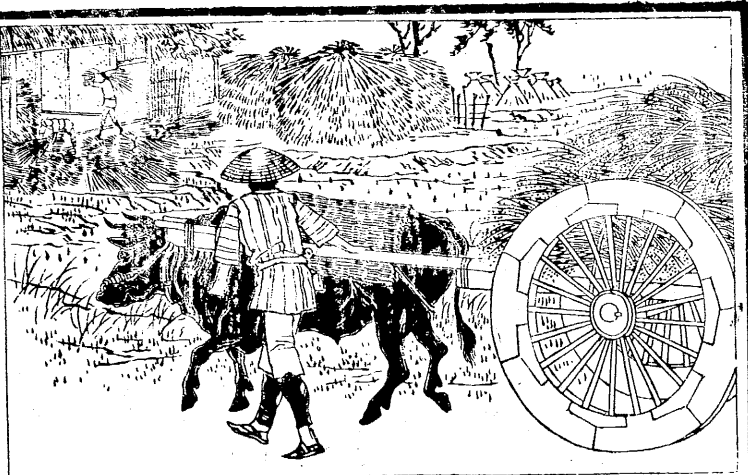
本居豊穎 撰  
平井 正 編

いしのうへに。したたる  
みづも。やまざれば。いつし  
か。いしをうがつべし。かくもん  
をなすも。また。これと

たなじし。つとめて。たこたらざ  
れば。つひひになる。

### 第二課

いねみのれり。このとしも  
ゆたかなり。ひとは。いね  
をはこびて。こやのうち  
にいれ。うしはくるま



をひきてひと  
のちからを  
たすく。

### 第三課

かなにへんたい  
かなありかん  
じをろのまま

もちひて いちたんをし  
るすものなりひらがな  
とまじへてもちふること  
たほし。

以<sup>い</sup>詠<sup>えい</sup> へ<sup>へ</sup> 又<sup>また</sup> 河<sup>か</sup> 魚<sup>う</sup> 水<sup>みづ</sup>  
去<sup>こ</sup> 里<sup>り</sup> 怒<sup>ど</sup> 流<sup>りゅう</sup> 越<sup>こ</sup> 王<sup>わう</sup> あり  
と<sup>と</sup> 多<sup>た</sup> 進<sup>しん</sup> 所<sup>ところ</sup> 法<sup>はふ</sup> 祢<sup>ね</sup> 家<sup>け</sup>

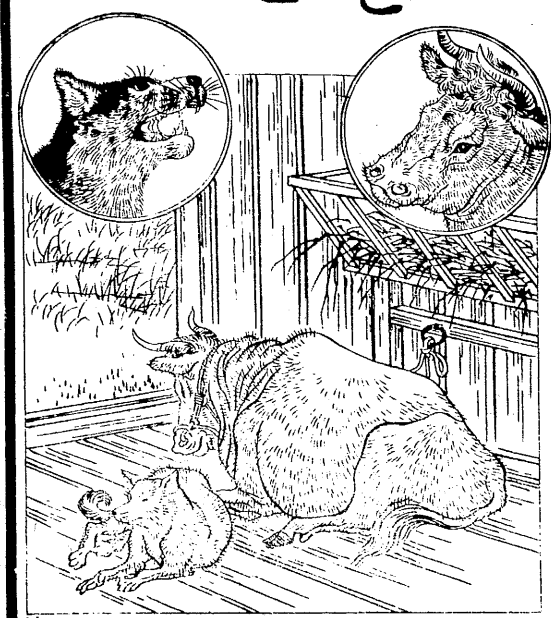
羅<sup>ら</sup> 堂<sup>どう</sup> 字<sup>じ</sup> 井<sup>い</sup> 乃<sup>の</sup> 北<sup>きた</sup> お<sup>お</sup> 皇<sup>こう</sup>  
屋<sup>い</sup> 浦<sup>うら</sup> 弟<sup>あに</sup> 木<sup>き</sup> 元<sup>げん</sup> 三<sup>さん</sup>  
阿<sup>あ</sup> 比<sup>ひ</sup> 起<sup>おこ</sup> 由<sup>よし</sup> 免<sup>めん</sup> 三<sup>さん</sup> 志<sup>し</sup>  
南<sup>なん</sup> 心<sup>しん</sup> 毛<sup>もう</sup> 世<sup>せ</sup> 走<sup>そう</sup> 走<sup>そう</sup>

第四課

小屋の中よ牛とぬ  
とあり牛は阿由みは

お整く犬はむしるいは  
やし牛の洗の阿まごも  
まばなし  
犬の牙あき  
ごも角を  
洗々洗。

小屋 中



牛 犬 牙 角

第五課

てんは。王れをおほひ。ち  
る。我越のす。天よひ  
とつま。とあり。地ふや  
まよか。とあり。月を。  
よる。か。やき。日ひる

ひかる。川のまづは。た  
ほく山よりいづ。

天地日月山川

我

第六課



山ハ高ケレ  
ドモシゲレル

木ハ低シ川ハ長ケレ  
ドモユク舟ハ短シ山  
ニノボルニハフモトヨ  
リシ水上ニ  
行クニハナ  
ガレニサカ  
ノボル。



巻之二 第二課

高ケクキシ 低ケクキシ 長ケクキシ 短ケクキシ 水上

行ケクキシ 舟

第七課

日のてらす 阿ひだをひ  
るといふ 晝を はたらき  
て おもふる 産あらば 日  
比い里ふる のちをよと

いふ夜をいねて やすむ  
べし 志のいあまどもをや  
く休むの怠里のはじめ  
なり。

晝夜 休メム 怠ヒレ

第八課

此ノ子共ハカタテニホ

小學書通斗 第二賣下

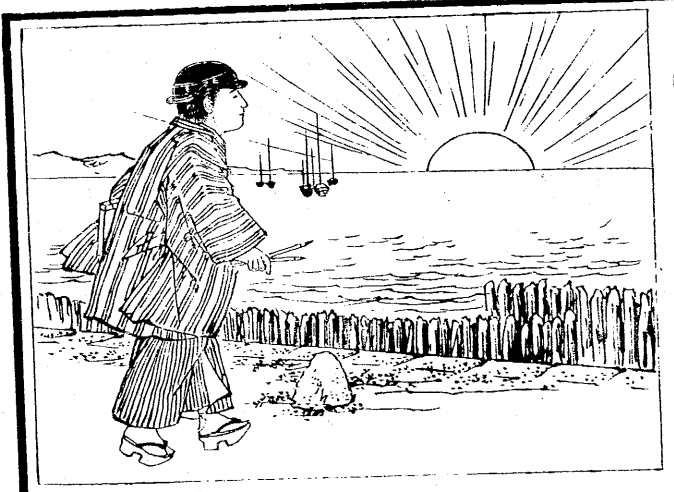
ンヲモチ  
片手ニフテ  
ヲ持テリ  
本ヲ持チタ  
ル方ハヒダリ  
ノ手ナリ筆ヲ持チタル  
方ハミギノ手ナリ本



筆ナドハ。タイセツニトリ  
アツカフベシ。  
此子共片手本筆  
方持<sup>テツタ</sup>  
第九課  
日の出る方をひがし  
といひ。日此入る方を



學部通科  
 第二課  
 第二詩本



にしといふ。おれ子共い  
 いまむがしよ  
 むのへり。本を  
 持ちたる方の  
 きたよして  
 筆持ち多る  
 方をみな三と

とあふ西と北よりた多  
 るかぜいさむく東と南  
 とり来る風をあたゝあ  
 かり。

東西南北風

來 レルリラン

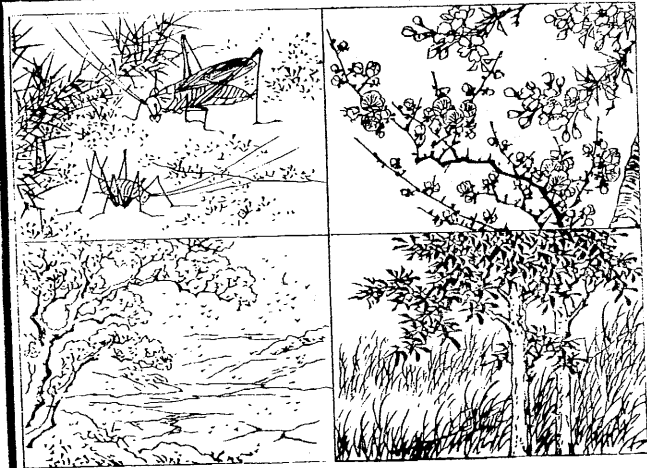
第十課

學部通科  
 第二課

ハ

小  
 學  
 通  
 科  
 第  
 二  
 講  
 本

はるハ暖なり 楚のに



はあさくあつ  
 ち阿流しくは  
 きのは三あ  
 あをしあきハ  
 ひやかな里く  
 さむらよむし

なくふゆをさむし地上  
 小ゆきふる春夏秋冬  
 六を志きといふ  
 春 夏 秋 冬  
 地上

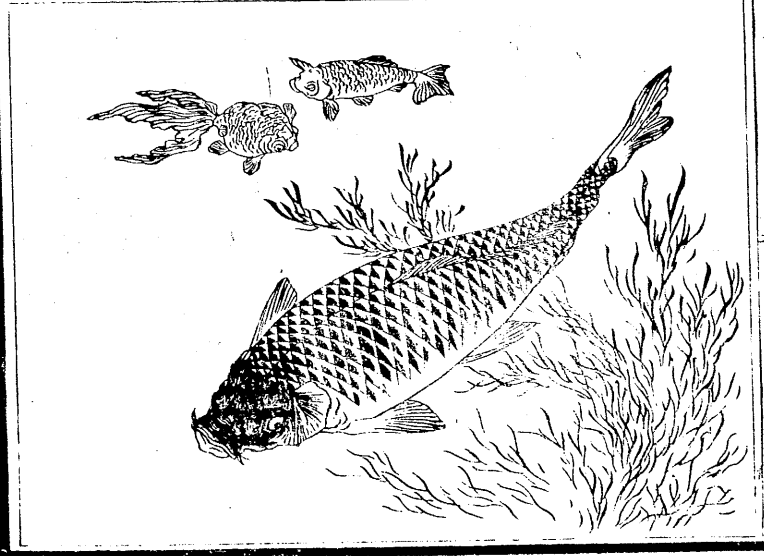
暖  
ケクキシレ

第十一課

池に魚あり自在小水

小島龍通科  
 第二課本  
 魚二詩才

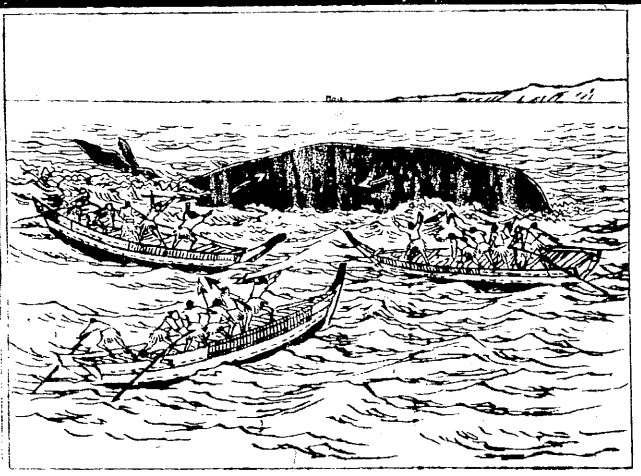
の中をおよ  
 びりこまを  
 ひれよて水  
 戯かき尾ふ  
 てあまのい  
 をさだむる  
 よふるなり。



魚 自在 水中尾

第十二課

くじらハ海よ  
 すむけもの  
 なり兒ハはら  
 此うちより  
 かたちを抜る



魚二詩才

色...  
鳥...  
音...  
和...  
第...  
二...  
評...  
本...

て生れは、のち、を  
のみて成長すさあふと  
ふとある ところなり。

海 兒 生 成 長

第十三課

一年ハ十二月ナリ二月三月  
四月ヲ春トイヒ五月六月七

月ヲ夏トイヒ。八月九月十月  
ヲ秋トイヒ。十一月十二月一  
月ヲ冬トイフ。一月ノ日數ハ  
タガヒアリ。四月六月九月十  
一月ハ三十日トシ其餘ハ三  
十一日トス。二月ハ二十八日  
ニシテ。二十九日ノトキハウ

鳥 魚 花 波 山 青 清



ルフ月ト稱ス。  
 日數 其餘  
 年 稱 セスシヤ  
 第十四課  
 春此景色ハ。  
 おも志後し。  
 鳥也。よろこ

びて。木よさつづり。魚ハ。  
 たをむれてぬちよおごり。  
 水也。清くあゝのまて。波  
 おだやかよ。山も青くし  
 て。花ふほへり。

青 クキシ  
 景色 鳥 波 花 清 ケクキシ

青 鳥 波 花 清

小學部通科  
 第二課  
 詩林

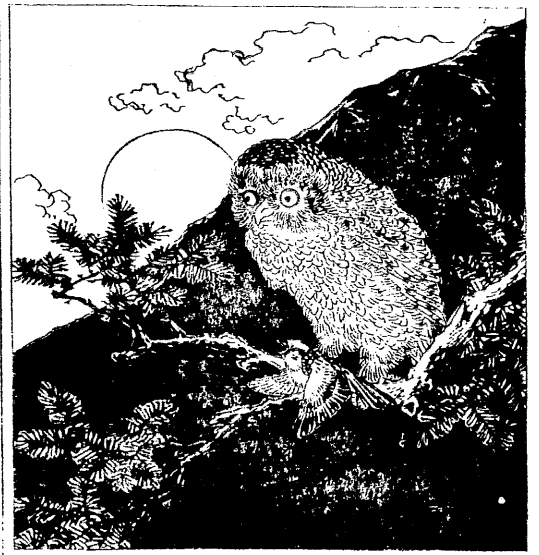
第十五課

我國ハ。日本ト名ヅク。ハタ  
 ノシルシハ。白地ニ紅日ヲエ  
 ガク。國ヲタツルコト。古クシ  
 テ。帝室ハ一系ナリ。ウゴカ  
 ザルコトハ。山ノゴトク。カ  
 ハラザルコトハ。天地ト同シ。

我國 日本 白地 紅日  
 古 帝室 一系

第十六課

フクロフハ鳥  
 ナリ 晝ハ 林  
 ノ中ニカクレ  
 ナクコトモナ



小學部通科  
 第二課  
 十三

ク トブコトモナシ 夜ハ 林  
ヲ 出デ、ナキ 小鳥ヲツカ三  
食フ 曉ニ至レバ マタ 林ノ  
中ニ入ル。

林ノ中 小鳥 曉 至  
出<sup>デッデ</sup>入<sup>レラシ</sup>

第十七課

志らぬことを 知まじりと言ふ  
ものハ人よ はづかし免ら  
る 知らぬ志とを 知る人よ  
問へ 知ることを得て 人よ  
辱しめらまじ。

知<sup>レラシ</sup> 人 問<sup>ヘラシ</sup> 辱<sup>シメ</sup>

第十八課

小學子通平  
 第二十一課  
 田中老人



大いなる木此下  
 よ老い多る人あ  
 り杖ふをりて  
 田をのぢめり田  
 此中よ若き人と  
 童子とありいね  
 の間の草刈ぬき

田小水をとぢめり 若き人  
 の老人の子よして 童子と老  
 人の孫なり。

大木 杖 田中 老人  
 若き人 童子 孫

第十九課

土石ノ地上ニ高ク起レルモ



小學部通科  
第二課  
讀本

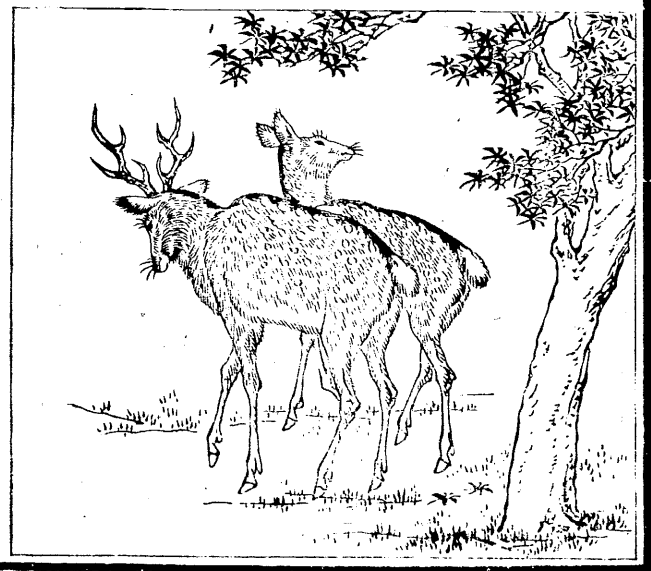
ノハ山ナリ水ノ細ク地ト地  
ノ間ヲ流ル、モノハ川ナリ  
山ニハ木ヲ生シ川ニハ魚ヲ  
産ス山ナケレバ川ヲナサズ  
川ナケレバ田ニ水ヲヒクコ  
ト能ハズ。

土石起レルリ細シクキ流ル

生ゼズジ産セスシ

第二十課

鹿ハ人ニナレ  
ヤスキケモノ  
ナリ深山ニス  
三草ノ葉ヲ食  
物トス雄ハ角アリ木ノ枝ノ



鳥音通科  
第二十一課

如シ 雌ハ角ナク カラダハ雄  
ヨリ小サシ 雄ノ角ハ其年ニ  
才チ 翌年ニ至リテ又生ズ。

鹿 深山 草葉 木枝

雌 雄 食物 角 其年

翌年

第二十一課

長き短きを測るよいものさ  
しを用ふ 物指ち一ふ尺度と  
よぶ衣服をたちぬひきを留ふ  
用ふるものを鯨尺といひ工  
事ふ用ふるをれを曲尺とい  
ふ 尺度ハ十釐を一分とし  
十分を一寸とし 十寸を一尺

普通科 第二課

とす 鯨尺の一尺を 曲尺の一  
尺二寸五分なり。

測<sup>レリ</sup>物指 尺度 衣服

工事 鯨尺 曲尺

第二十二課

此處ニゴウジアリ 彼所ニせ  
う志ふアリ 童子ハ紙鳶を好



三小女ハ人形ヲ  
愛セリ 此ノ童子  
ト少女ハ 今餘念  
ナクアソベトモ  
學校ニユキテハ  
片時モ遊ブコト  
ヲ思ハズ。

小學普通科

第二十二課

十八

此處 彼所 紙鳶 少女

人形 好ムミコ愛セスシ餘念

學校 片時 遊ミゲビシ思ヘフシ

第二十三課

吾人ノスムトコロヲ世界ト

言ヒ 又地球トモ名ツク表

面ハ陸ト水トニ成リ人ハ陸

學田洋行印刷

ノ上ニ住ムナリ水ハ陸ヨリ  
廣キコトホトンド三倍ノ大  
サアリ。

吾人 地球 世界 水陸

廣ケクキシ三倍

第二十四課

日海を小暮んとす人を鋏を

荷ふて家よか  
へりうまを枯  
草を負ふて人  
よ從ふいふ、  
く馬の家  
の近づきしを告  
げむるふる犬



主の來るを知る。

暮ムル 歛ムツ 荷ツヒ 家 枯草  
負ツヒ 從ツヒ 馬 近ツツケ 告ツツケ 主

第二十五課

學問を法學むまば。ちるはま  
く進む。怠たればちるいよく  
くだる。賢き人ととなるも愚の

ある人とある人も。たゞ學ぶと  
學バざるとよ。阿里。學ババ富  
貴となり。學バざま。バ貧乏と  
なる。

學問 進賢人 愚人

富貴 貧乏

學小普通科第二讀本終  
鮮齋永濯畫圖  
河邨墨稼淨書

明治十八年五月十九日版權免許  
同 十九年一月 出版

定價金拾錢



閱者 愛知縣士族 本居豐穎

編者 東京府士族 下谷區竹町七番地 平井正

出版人 東京府平民 京橋區銀座三丁目九番地 山中孝之助

發兌人 東京府士族 京橋區弓町十五番地 後藤鋼吉

同 羣馬縣平民 羣馬縣下高崎本町九番地 竹内輝吉